

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

《試料・情報の 利用目的及び 利用方法》	●研究の名称 多形癌の臨床病理学的特徴と予後
	●研究の対象 ・2019年1月から2023年5月までに原発性肺癌データベースに登録された1261例 ・2019年1月から2023年5月までに静岡県内8施設(浜松医科大学、浜松医療センター、聖隷浜松病院、磐田市立総合病院、焼津市立総合病院、静岡赤十字病院、富士宮市立病院、藤枝市立総合病院)で原発性肺がんに対して手術を受けた方の中で病理学的に多形癌と診断された方 18名
	●研究の目的 肺がんの治療には、病理診断結果に基づく治療成績が明らかになってきており、それぞれ組織型に応じた治療方針が個別化され、治療成績は良くなってきています。しかし、多形癌という癌は非常に悪性度が高く、術後再発しやすく予後が不良であることが知られています。この研究では、原発性肺癌データベースに登録されているデータや、多形癌と診断された患者さんのカルテデータから、どういった方に多形癌が見つかるか、手術のあとに合併症が多いのか、術後の再発・死亡までの期間を明らかにすることを目的とします。
	●研究の期間 研究機関の長による実施許可日から2027年12月まで
	●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日
	●他の機関に提供する場合には、その方法 本研究の症例登録票には個々の登録症例に付与される登録番号を用いて記載し、当該実施施設外の者が患者さんを特定できる情報は記載しません。また、本研究の研究機関に情報を提供

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	<p>する場合、提供元で個人と情報を識別するための表を用いて情報を加工することで提供先では個人を特定することができません。</p>
<p>《利用し、又は提供する試料・情報の項目》</p>	<p>●研究に使用する試料・情報 情報：病歴、治療歴、副作用等の発生状況、カルテ番号 等</p>
<p>《利用する者の範囲》</p>	<p>●機関名および責任者名 浜松医科大学 第一外科 呼吸器外科 船井 和仁 富士宮市立病院 外科 矢島澄鎮 静岡赤十字病院 呼吸器外科 早川貴光 焼津市立総合病院 外科 小林亮 藤枝市立総合病院 呼吸器外科 江間俊哉 磐田市立総合病院 呼吸器外科 望月孝裕 聖隷浜松病院 呼吸器外科 中村徹 浜松医療センター 呼吸器外科 朝井克之</p>
<p>《外国にある者に対する試料・情報の提供》</p>	<p>本研究では実施しません</p>
<p>《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》</p>	<p>浜松医科大学 第一外科 呼吸器外科 船井 和仁</p>
<p>《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止(受付方法含む)》</p>	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下《問い合わせ先》をご確認ください。</p>
<p>《資料の入手または閲覧》</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたのご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にご希望をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

《情報の開示》	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。
《問い合わせ先》	〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 第一外科 呼吸器外科 担当者： 関原圭吾 TEL： 053-435-2111 E-mail： sekihara@hama-med.ac.jp